



工 学

×

デ ザ イ ン

理 工 学 部

創 発 デ ザ イ ン
工 学 環

建 築 都 市
デ ザ イ ン 学 部

情 報 工 学 部

School of Design Engineering

学 部 等
連 係 課 程

創 発 デ ザ イ ン 工 学 環

2027年4月新設

Version 2.1

設置の理念と養成する人材像

予測困難な未来を切り拓くためには、専門的な知識を縦系に、統合的な思考力を横系に織りなすスキルが求められます。このような時代背景を踏まえ、創発デザイン工学環では、工学分野の専門知識や技術とともに、デザイン分野の思考力や情報活用能力の修得を通じて、未知の課題に柔軟に対応できる力と、その力を卒業後のキャリアにおいても培い続ける素養を備えた、イノベーション創発の担い手となる人材の養成を目的とします。

学部等 関係課程 創発デザイン工学環

工学技術を広く学び、デザインの実践による
創造的発想を統合してイノベーションを創発する

理工学部

創発デザイン
工学環

建築都市
デザイン学部

情報工学部

POINT

01

学部横断の新制度 学部等関係課程

学部等関係課程とは、大学内の学部等が連携して教育課程を編成することができる新しい学部相当の組織で、本学では「学環」という名称で新設します。「環」という名称には、“つながり”や“循環”といった意味が込められており、教育・研究の実績豊かな既存の理工学部・建築都市デザイン学部・情報工学部を連携協力学部とし、これらの分野を横断したつながりを基盤としつつ、創発デザイン工学環独自のプログラムにより新たな学びを展開します。



POINT

02

社会実装のための試作開発を支える デザインスタジオ

創発デザイン工学環では、課題発見・共創・試作・検証といった一連のプロセスを重視し、「作る」と「考える」ことの連携により、実社会とつながる学びを推進します。その拠点となるのは、約450㎡×2室で構成される「デザインスタジオ(仮称)」です。工作機器・計測器・3Dプリンタ・IT設備・映像設備などを整備したスタジオで、学生は自由にプロトタイピング(試作検討)を繰り返しながら、アイデアをカタチにしていきます。



POINT

03

「デザイン思考」を実践する体系的な教育プログラム 「社会課題の発見」と「解決」のための学び

本学の工学系学部では、技術習得にとどまらず、社会課題の発見と解決のための学びを重視しています。2021年度から導入している「ひらめき・こと・もの・くらし・ひと」づくりプログラムは、社会課題を探究しアイデア創出を導く授業を展開しており、文部科学省の「知識集約型社会を支える人材育成事業」に採択されました。創発デザイン工学環においても、このプログラムで培ったデザイン思考の授業科目を実践的に展開していきます。



POINT

04

「デザイン工学」からの深化 「イノベーションの創発」と「社会実装」

デザイン工学とは、工学的な知識や技術を基盤に、工業製品・情報システム・建築・都市などの様々な対象に対して、機能性・安全性・使いやすさ・美しさを追求していく学びと言えます。創発デザイン工学環では、さらに「イノベーションの創発」を目指し「社会実装」に重点を置きます。技術やデザインをいかに社会に普及させるか、環境問題や未来への時間軸も念頭に置いた新たな価値を創造するための人材育成を目指します。



内容については予定であり、今後変更することがあります。

CURRICULUM		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学環 基盤科目	「工学」の基礎となる数学・自然科学・情報などの科目を履修します。「SD PBL」では社会課題の探究を行うことで、専門科目に取り組むための基盤づくりを行います。	学環基盤科目・SD PBL							
	専門科目	創発デザイン系	創発デザイン系(基礎)						
			創発デザイン系(応用)						
連係基礎系		(基礎) 理工学部連係 建築都市デザイン学部連係 情報工学部連係					連係する 3学部の科目 から関心分野 に応じた柔軟 な履修が可能		
連係応用系		(応用) 理工学部連係 建築都市デザイン学部連係 情報工学部連係							
卒業研究 関連科目	4年次の「卒業研究」は、学環専属の研究室で成果をまとめていく場合と、理工学部・建築都市デザイン学部・情報工学部の各研究室に所属する場合があります。						事例研究	卒業研究 卒業制作	
教養科目 外国語科目 体育科目	人文学系・社会科学系・人間科学系などの教養科目や、「都市大スタンダード2.0」に基づく外国語科目などを履修します。別途「東京都市大学オーストラリアプログラム(TAP)」に参加する場合は2年次8～11月の期間を予定しています。	教養							
		外国語			TAP				
		体育							

創発デザイン系

における科目の例

●創発デザイン工学概論

学環担当教員や学外のイノベーター・デザイナーによる、多種多様な分野における「創発」や「デザイン」の実例をテーマにしたオムニバス講義

●工学表現演習

プレゼンテーションの基礎や、静止画・動画編集ソフトの操作の習得により、課題の成果を「分かりやすく」「美しく」伝える力を身に付けます

●デジタルモデリング演習

3Dモデリングやプログラミング、電子工作の基礎を学びながら、プロダクトやサービスの試作を通して複合的なデザイン力を身に付けます

●プロトタイピング応用演習

デジタルモデリング演習での学びをベースに、社会実装を見据えた具体的な構想と試作検証を通して、創発デザインのための実践力を磨きます

アドミッション・ポリシー

- ・ 高等学校における学習内容をよく理解し、本学環で学ぶために必要な基礎学力と素養を備えている人
- ・ 工学分野の専門知識や技術とともに、デザイン分野の思考力や情報活用能力の修得に意欲のある人
- ・ 未知の課題に柔軟に対応できる力と、その力を卒業後のキャリアにおいても培い続ける素養を備えた、イノベーション創発の担い手となることを志す人

卒業後 想定される 進路

本学環の卒業生は、工学的知識とデザイン思考を兼ね備えたクロスオーバー人材として、多様な業界での活躍が期待されます。

- 製造・プロダクト開発 自動車、家電、医療機器などの製品開発部門
- IT・デジタルサービス UX/UIデザイン、システム開発、デジタルコンテンツ制作
- 建築・都市デザイン 空間デザイン、スマートシティ開発、デジタルコンストラクション
- ビジネス・コンサルティング 経営戦略、イノベーション推進、DX推進部門
- 起業・スタートアップ 新規事業開発、ベンチャー企業の立ち上げ
- 研究・教育機関 大学・研究機関での専門的な研究・教育活動

●キャンパス

世田谷キャンパス 東京都世田谷区玉堤1-28-1

●アクセス

東急大井町線 尾山台駅 徒歩12分



2027年度 学部学科構成 (予定)

世田谷キャンパス	学部	学科	募集人員
	理工学部	機械工学科	110
		機械システム工学科	100
		電気電子通信工学科	130
		医用工学科	60
		応用化学科	80
		原子力安全工学科	40
		自然科学科	60
		建築都市デザイン学部	120
横浜キャンパス	建築都市デザイン学部	都市工学科	100
		情報科学科	100
世田谷キャンパス	情報工学部	知能情報工学科	80
		2027年度 4月新設 創発デザイン工学環	80
世田谷キャンパス	環境学部	環境創生学科	90
		環境経営システム学科	90
世田谷キャンパス	メディア情報学部	社会メディア学科	90
		情報システム学科	100
世田谷キャンパス	デザイン・データ科学部	デザイン・データ科学科	100
		都市生活学部	150
世田谷キャンパス	人間科学部	人間科学科	70

学部合計 1,750

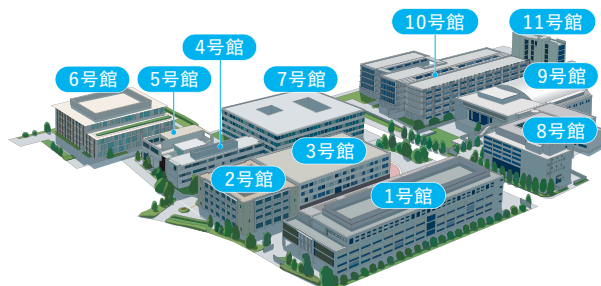
CAMPUS MAP



世田谷キャンパス

[住所] 東京都世田谷区玉堤1-28-1

[アクセス] 東急大井町線 尾山台駅 徒歩12分



横浜キャンパス

[住所] 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1

[アクセス] 横浜市営地下鉄ブルーライン 中川駅 徒歩5分



- 1929年 前身となる「武蔵高等工学校」設立
- 1942年 「武蔵高等工業学校」に改称
- 1944年 「武蔵工業専門学校」に改称

1949年 学制改革により「武蔵工業大学」に昇格

1997年 横浜キャンパス開設:「環境情報学部」新設

2007年 「工学部」を「工学部」「知識工学部」に改組

2009年 「武蔵工業大学」から「東京都市大学」に名称変更
等々力キャンパス開設:「都市生活学部」「人間科学部」新設

2013年 「環境情報学部」を「環境学部」「メディア情報学部」に改組

2020年 「工学部」「知識工学部」を
「理工学部」「建築都市デザイン学部」「情報工学部」に改組

2022年 「都市生活学部」「人間科学部」を世田谷キャンパスに移転

2023年 「デザイン・データ科学部」新設

2027年 学部等連係課程「創発デザイン工学環」新設

東京都市大学の変遷

[1929-2027]

